

今、
わたしたちに
できること。

with コロナの世界を見据えて



Contents

2020 July-September

03 2020年度 下期Global CEOメッセージ

04 Global COOに東さん就任

05 特集1
今、わたしたちにできること。
with コロナの世界を見据えて

14 CHASE YOUR DREAM

15 特集2
地球環境とブリヂストン
マイルストーン2030とその先の未来

21 お客さまの声

22 Health Seed
——熱中症対策と新しい生活様式

24 ありがとうの気持ち
読者プレゼント
ご意見紹介
広報部からのお知らせ



Web版Arrowは
お家やスマホでも見られるよ!
ユーザー名: bridgestone
パスワード: arrow



お見舞い

2020年7月に発生した「令和2年7月豪雨」で
被害を受けられた皆様にお見舞い申し上げます。
一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

Arrow編集部一同



COVER

withコロナの世界で奮闘するブリヂストングループの皆さんの
様子をご紹介します。

※社名/役職名/部署名は 2020年7月17日時点のもの。

※本誌は、森林管理協議会 (Forest Stewardship Council) が認証した森林からのパルプを
配合したFSC認証紙を使用しています。

2020年度 下期Global CEO メッセージ

上期の振り返りと下期に向けた
グループ従業員へのメッセージを
伺いました。

コロナ禍での皆さんの努力、 自発的な取り組みに感謝

COVID-19 は、我々の生活にいま
だに大きな影響を与えています。

そんななか、ブリヂストンが生活の
インフラを、社会を支えているという
強い責任感のもとに、皆さんがそれ
ぞれの持ち場・立場で丸となって
努力を続けてくれていることに心から
感謝しています。また、日本国内そ
して世界中で、マスクやフェイスシ
ールドの製造・寄付を行ったり、緊急
車両のタイヤメンテナンスサービスを
提供するなど、「何かできることはな
いか」と一人ひとりが自発的に考え、
我々の使命である「最高の品質で
社会に貢献」に通じる取り組みを行っ
ていることにとても感銘を受け、誇り
に感じています。

おそらくCOVID-19 の収束に向
けては今後も一進一退が続くなか
で、引き続き感染症に対する安全
対策はもちろんのこと、平時とは異
なる職場環境や業務の状況におい
てはこれまで以上に安全に留意して
行動してください。

BRIDGESTONE Solutions for your journey

Bridgestone3.0 (第三の創業) へ

(株)ブリヂストン
取締役 代表執行役
Global CEO
石橋 秀一



上期の業績とこれからの働き方

COVID-19の影響で、第1四半期
の業績は計画比・前年比とも大幅に
悪化し、第2四半期は更なる悪化を見
込んでいます。主力のタイヤ事業では、
車両メーカーの減産などが大きく影響
する一方で、相対的に底堅い補修用
タイヤの需要が業績を下支えしている
状況です。この厳しい状況を乗り越え
るため、「安全確保」を第一に、「ダメー
ジコントロール」、そして「本質課題へ
の対応」の3点を基本方針として取り
組んできました。皆さんのご理解とご協
力のもと、非常に迅速かつフレキシブル
な対応ができていますと捉えています。

現在も多くの皆さんがテレワークを
行っていますが、6月より「出社が必
須の業務」に加え、「出社および対面
業務が付加価値を生む業務」につい
ても出社する体制へ移行を進めていま
す。皆さんが安心・安全に働けるよう、
「安全はすべてに優先する」を基本
中の基本として、ハード／ソフト面とも
にしっかりリソースを投入し環境を整備
しています。

コロナ禍をきっかけに、付加価値と
は何か、生産性向上のためにはどうす
れば良いか、皆さんも業務の本質につ

いて考え、議論する機会があったので
はないでしょうか。もっと働きやすい会
社に変えていくための“働き方変革”
と一緒に取り組んでいきましょう。

第三の創業：サステナブルな ソリューションカンパニーへ

7月8日に中長期事業戦略構想を社
外のステークホルダーに向けて発表しま
した。2020年にスタートした新たなチャ
プター「Bridgestone3.0」は、1931
年の創業後、ファイアストンの買収でグ
ローバル化に舵を切った「第二の創
業」に次ぎ、サステナブルなソリュー
ションカンパニーに向け前進していく「第
三の創業」です。ブリヂストンの全ての
ベースであるタイヤ・ゴム事業、すなわち、
“モノを創って売る”事業を将来に向け
ても徹底的に強化していくとともに、タイ
ヤやモビリティのデータを活用して新たな
“価値”を創造し、“価値”を売るソリュー
ション事業に進化させていきます。これ
により、我々のVision「2050年にもサ
ステナブルなソリューションカンパニーと
して社会価値・顧客価値を持続的に
提供する会社であり続けること」を実現
したいと考えています。

同日には、このVisionの実現に向

けた我々の強い意志を示す新たなブラ
ンドメッセージ“Solutions for your
journey”も発表しました。これは、こ
れまでの我々のJourneyを表現した
“Your Journey, Our Passion”に
「ソリューションを通じて持続可能な
社会の実現に貢献していく」という想
いを加えたものです。

8月には中間決算、9月には東京・
小平の旧企業博物館「ブリヂストン
TODAY」をリニューアルしたブリヂス
トン イノベーション ギャラリーの限定
オープニング、10月には国内外の投
資家の皆様とのコミュニケーションを
強化するイベントと、新たなチャプター
「第三の創業」に向けて動き始めた
ブリヂストンを社外のさまざまなステ
ークホルダーに継続的に発信し、我々の
Vision、想いを理解、共感いただく場
を設けていきます。

また下期には計42回、来年も継続
してタウンホールミーティングや懇談会
など、さまざまな職場や立場のチームメ
イトの皆さんとの対話の機会を創って
いきますので、ぜひ皆さんの考えを聞か
せてください。Arrowを通じてのコメント
も歓迎です。

下期もチーム一丸となり頑張ってい
きましょう。よろしくお願いします。

Global COOに東さん就任

新しくGlobal COOに就任された東さんに、お話を伺いました。

働く皆さんが誇りに思える、 社会から尊敬される会社であり続けたい

——これまでの経歴についてご紹介ください。

入社して17年間、北米のタイヤ事業を担当し、その内8年半は米国でトラック・バス用タイヤの販売、マーケティングに携わりました。現場で直接エンドユーザーの声を聞き、ほぼ例外なくブリヂストンの品質を高く評価いただいていることを実感して、誇らしさと共に海外でのブリヂストンの高い存在感を感じた喜びが仕事の原体験です。またその後、タイの現地法人トップを3年弱務めました。まだ暑熱対策も十分ではなかった当時の工場ですらに汗を流しながら作業するタイの皆さんと一緒に働き、タイヤが製品になるまでいかに多くの方々の努力と苦労の積み重ねが有るかを体感しました。帰国後は多角化事業、グローバルマーケティング、CSR・環境・品質経営、化工品ソリューション、MAAソリューションといった広範囲にわたる業務を経験し、新しい事業領域やグローバルビジネスの環境変化を理解する上で貴重な経験を得ました。

——ご自身の役割をどうお考えですか？

私にはGlobal COOとGlobal CAO^{*}、そして日本事業の執行・統括というミッションがあります。最前線で事業を担うオペレーション部門とそれを支える管理部門は、どちらも会社にとって欠かせない重要な役割です。Global COOとGlobal CAOを兼任することで、この2つをより効果的に連動させ、グループ全体で一丸となり戦略の実現を加速していくのが私の務めです。また、日本事業においては、足元の業績回復を図りつつ、特にスピード感を重視して中長期事業戦略構想の実行をリードしていきます。「2050年にサステナブルなソリューションカンパニーとして社会価値・顧客価値を持続的に提供している会社へ」という我々のVisionの実現に向けて、変化すべき今を逃すことなくアクションをとっていきます。

※CAO：Chief Administration Officer

——ブリヂストンをどんな会社になりたいですか？

働く一人ひとりが、誇りに思える会社になりたいと思っています。ブリヂストンは今日まで、グローバル企業として果たすべき成長を規模のみではなく質を含めて着実に成し遂げてきました。それは、常にお客様や社会のニーズに応え、信頼を勝ち得てきた結果にほかなりません。これからも、Visionの実現を通じて、質と格を備えた成長を続けると同時に、これを支える皆さん一人ひとりの成長につながる機会を提供できる会社になりたいと考えています。

——従業員の皆さんへメッセージをお願いします。

まずは、厳しい環境のなかで、皆さんがそれぞれの持ち場で全力を尽くしていただいていることに心から感謝します。

COVID-19の影響を受け、社会活動、経済活動のあり方は少なからず変化していくでしょうし、コロナ以前から、自動車業界は100年に一度といわれる大きな変革を迎えています。この激変のなか、社会やお客様の変化に合わせて、私たちが提供する価値は進化していかなければなりません。我々は、社会・お客様の困りごとを解決するソリューションによってその価値を進化させようとしています。そのためには、まず困りごとそのものをより深く分かろうとする意志とその方法論を持つことがますます重要になります。

ブリヂストンも大きな変革の時を迎えています。今後ブリヂストンがサステナブルなソリューションカンパニーに成長していくためには、皆さん一人ひとりが社会・お客様目線で正しい課題を見つけ、その課題解決に正面からチャレンジする姿勢が不可欠です。

その姿勢が具体的な結果につながることで、ブリヂストングループの未来に、そして皆さんの成長と誇りにつながっていくのだと思います。

(株)ブリヂストン
Global COO
東 正浩さん

東さんに7つの質問！

Q1 小さいころはどんなお子さんでしたか？

小学校に上がるまではとても恥ずかしがり屋。一方で学芸会の主役を張る二面性も。

Q2 入社前のブリヂストンとの関わりは？

学生時代、冠番組の「ベストヒットUSA」が大好きでした。洗練されたCMも憧れてました。

Q3 入社した理由は？

当時は世界一ではなく、「これから世界一を目指す会社」だったから。

Q4 ご趣味は何ですか？

休日は自分で買った豆を挽いてコーヒーを淹れるのが日課。趣味は映画や音楽で、キャリアだけは長いギターを弾いたりもします。

Q5 座右の銘は何ですか？

パッション(情熱)、プロフェッショナルリズム(プロ意識)、リスペクト(尊敬)、アプリーション(感謝)。仕事はこの順番で進めたいといつも思っています。

Q6 こだわりのビジネスアイテムはありますか。

腕時計。特定のデザインに惹かれて2本持っているモデルもあります。

Q7

特に思い入れのあるブリヂストン商品は？
これはもう、入社してすぐに関わったトラック・バス用タイヤ。私の原点です。



今、 わたしたちに できること。

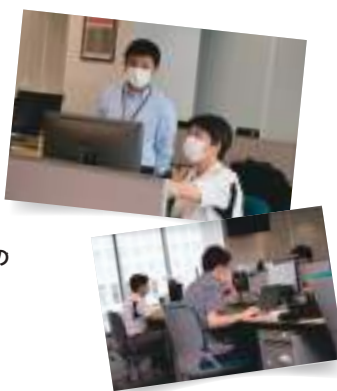
with コロナの世界を見据えて

世界中に大きな影響を与えている、新型コロナウイルス。
この新型コロナウイルスの被害を抑えるため、
ブリヂストングループでは、さまざまな対応策を展開してきました。
事態は刻々と動いており、私たち一人ひとりの行動一つで、
未来は大きく様変わりします。
今、私たちにできることは何なのか、改めて考えてみませんか？

1 会社を支える。現場を支える。

新型コロナウイルス 緊急事態対策室 インタビュー

ブリヂストンに設置された新型コロナウイルスの緊急事態対策室は、
発足以降、私たち従業員とステークホルダーの健康と安全を守り、
ブリヂストンの事業損失を最小化するために多種多様な取り組みを展開しています。
緊急事態対策室の事務局を務める（株）ブリヂストン ガバナンス・リスク管理部 リスク管理ユニットリーダーの
清水さんに、発足からの取り組みについて伺いました。



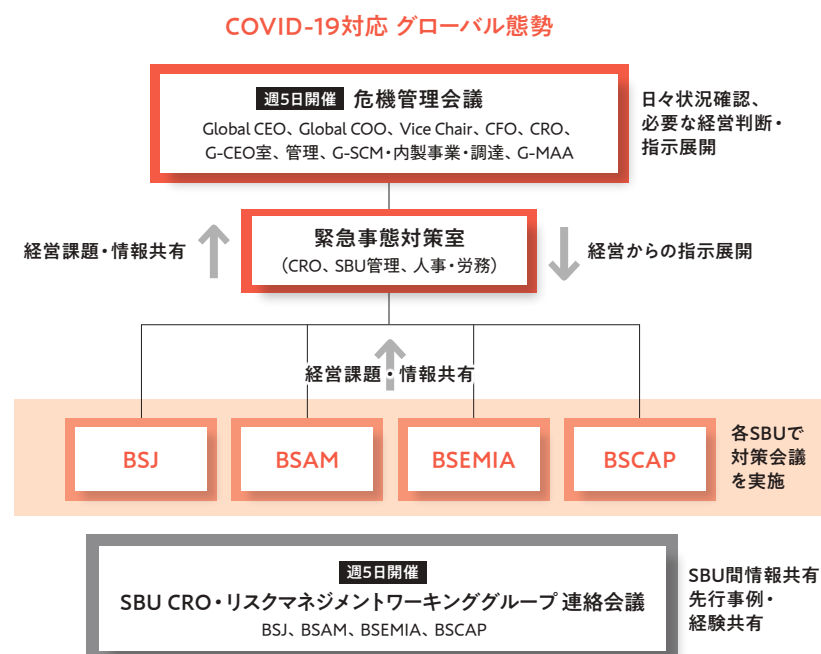
（株）ブリヂストン ガバナンス・リスク管理部 リスク管理ユニット
※ユニットメンバーは取材当時のもの

リーダー 清水 博文さん 中村 愛佳さん 青木 克敏さん 副田 茂樹さん

未曾有の危機を迎え、 グループ一丸の対策組織を 構築

新型コロナウイルスへの対応を開始したのは、2020年1月初旬のこと。1月5日付で武漢市衛生健康委員会が発表した「中国湖北省武漢市での原因不明のウイルス性肺炎症例の発生について」を北京事務所が入手したことがきっかけで、関連報道のモニタリングを進めました。

情報収集に合わせて、対策組織の立ち上げについての検討を開始しました。ブリヂストングループの『リスク管理基本マニュアル』では感染症発生後のフェーズに応じて対応が異なりますが、当時は「当社グループ事業所のある国で広く感染が発生、あるいは当社グループ従業員もしくは同居家族に感染者が発生」という「警戒期」のフェーズにあったため、合同対策本部を設置して、各事業/SBU、現地対策本部と連携して対応に当たる体制を構築。その後、フェーズが「危険期」を経て「パンデミック」に至ったため、合同対策本部が緊急事態対策室へと移



新型コロナウイルス感染拡大防止のための対応例

従業員の安全確保

- ・感染に関する情報調査および整理と、グループ内への展開
- ・グループ従業員の感染状況把握および、発生した場合の行動基準策定
- ・政府や厚生労働省の指針・要請を踏まえた各種指針の策定、展開
- ・マスク、消毒液、フェイスシールドなどの、安全確保のための備品確保

社会貢献

- ・医療機関や自治体への安全対策備品（防塵マスク、自社製ウレタンマスク、雨がっぱ）の寄贈
- ※自社製ウレタンマスクは、当社グループが過去に業務用マスクを製造していたノウハウから生まれました。国内のマスク不足の緩和を目的として、当社グループ従業員向けに生産が始まりましたが、自治体への寄贈も実現したことで、大きな社会貢献となっています。

事業損失最小化

- ・施設クローズおよびそれにまつわる再開基準、再開後の行動ガイドラインの策定

行するなか、私たちリスク管理ユニットはリスク管理事務局として、合同対策本部・緊急事態対策室の運営に当たりました。

正しい情報を集め、 正しく伝えるために

かつてない規模の危機に対応するため、特に注力したのが、情報の収集および整理、共有です。早期に構築したグローバルでの対応（左図）を生かして、まず、グローバルの指針を発信。また、お互いの対応ガイドラインを共有することで各々の対策を補完しました。その上で、「従業員・家族・関係者の生命と安全の確保を最優先とした対応」「社会貢献」「事業損失の最小化」「危機局面での本質的課題への対応および抜本的変革による経営体質の強化」の4項目からなる『グループとしての基本方針』に沿って、実際の対応策の検討を推進。上にまとめた図はその活動の一例です。そして、これらの対応について、各SBUとはコーポレートガバナンス本部長、海外SBUリスク管理チームが電話会議にて毎日情報交換

を実施したほか、国内においては緊急事態対策室を中心に、各事業/SBU対策本部および現地対策本部との連絡会議にて、毎朝グループ状況の共有に努めました。

コロナ禍を乗り越え、 さらに強いブリヂストンへ

一方で、新型コロナウイルスの感染者が日に日に増加し続け、感染の中心が中国からアジア全土へ、そして欧州、米国、新興国へと変遷していきながら、対応の範囲拡大と長期化を迫られることになりました。それに伴い、私たちリスク管理ユニットのリソース（特に人員・工数）の確保と、メンバーのモチベーション維持が課題となったのです。

そこで、リスク管理ユニットの業務効率化とモチベーション維持のため、コロナ対応の“誰でもできる化”を推進。コロナ対応の役割をユニットメンバー全員に分散し、短期ローテーションで回し続けることで、全ての作業を全員が担当できる体制を構築しました。これにより、緊急事態宣言が発表され

た4月以降、直接顔を合わせることなく在宅で業務に当たっていたメンバーたちも、お互いがカバーし合えるようになり、コロナとの広域長期戦への構えが整いました。

このように、新型コロナウイルスへの対応を続けるなかで、リスク管理ユニットとしてはもちろん、グローバルでの危機管理体制をより一層強固にできたことは、大きな進化と言えます。まだ終息が見えない状況で、従業員の皆さんも不安や疲弊感を覚えているかと思いますが、今後も適時適切に最適と考える就労や執務環境指針を打ち出し、メッセージを発信することで従業員の安全確保と不安解消に日々努めていきます。一緒にコロナ禍を乗り越え、さらに強いブリヂストンとなるためにも、これからもご協力よろしくお願いします！

これまで緊急事態対策室が発信したメッセージや指針は、ONE-Bに掲載しています。ブリヂストングループの従業員の方なら誰でも閲覧できるので、ぜひご確認ください！

2 世界を支えるために。

新型コロナウイルス感染拡大を防
各社・各現場でも積極的なチャレ

止しながら、高品質なサービスを提供するために、
ンジが進められました。



国内各社・各事業所

“史上初”?! リモート入社式、オンライン新入社員研修などを実施



ブリヂストンスポーツ（株）のWeb新入社員研修の様子

ブリヂストングループ各社では、緊急事態宣言が発令されていた地域を中心に入社式を延期したり、新入社員研修をオンラインで実施しました。

ブリヂストンスポーツ（株）では、毎日一人ずつ「最近感じたこと」を話したり、Arrowで紹介されていた動画を見ながらみんなでストレッチしたりするなど、オンラインだからこそ会話やコミュニケーションを大切にしながら研修を実施しました。同じくオンラインで新入社員研修を行った（株）ブリヂストンの新入社員からは、「テレワークが長い分、出社意欲が高まっています!」「入社時、少しでも成長していられるように、研修を頑張ります」などの声も。

（株）ブリヂストン・ブリヂストン化成品（株）・ブリヂストンケミテック（株）

簡易マスクの自社生産を開始

4月、（株）ブリヂストンとブリヂストン化成品（株）、ブリヂストンケミテック（株）は、新型コロナウイルス感染症の影響による国内におけるマスク不足の緩和に貢献するため、国内のグループ従業員向けにウレタンを活用した簡易マスクの生産を開始しました。また、5月以降、国内のグループ生産拠点がある各地域の自治体に合計30万枚を寄贈しました。



左より（株）ブリヂストン久留米工場長 入江さん、大久保勉 久留米市長



左より渡部修 磐田市長、
（株）ブリヂストン 磐田工場長 家中さん

旭カーボン（株） 地域のニーズに応える支援活動



写真左より、新潟市保健所保健管理課 村山安幸 課長補佐、
旭カーボン（株）取締役常務執行役員 品質経営企画部長 鈴木さん



旭カーボン（株）は、新潟市保健所に化学防護服100着を寄贈しました。今回寄贈した防護服は、新潟市保健所で行われているドライブスルー PCR検査などに従事する医師や看護師が使用します。

また、「今できることに取り組みたい」という思いで、ゴミ拾い活動や献血バスの受け入れも継続的にを行っています。恒例行事である工場周辺のゴミ拾いボランティア活動は、いったんは新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止を検討しましたが、「気持ちが落ち込んでいるからこそ、社会貢献活動を」という思いから、3つの「密」を徹底的に回避した上で実施しました。また、外出自粛により関東甲信越ブロック全体で血液が不足しているため、事業所に献血バスを受け入れ、総勢30人の従業員が就業時間中に献血を実施しました。

（株）ブリヂストン 佐賀工場 自社資材を利用した簡易防護服の製作



（株）ブリヂストン佐賀工場がある佐賀県三養基郡上峰町に、ウレタンマスクと簡易防護服を寄贈しました。

新型コロナウイルス対策として、従業員に、地域社会への貢献について案を募ったところ、「工場資材の製品梱包用ポリシートを活用した簡易防護服の作成」という案が出ました。そこで、経済産業省Webサイトに掲載されていた医療用ガウンの型紙を参考に、総務の担当者と保健師で試作品を作り、工場にあるもので製作できることを確認し、今回の寄贈につながりました。簡易防護服は、上峰町を通じて工場近隣の医療機関に配布される予定です。

ブリヂストンヨーロッパ・ミドルイースト・インド・アフリカ・ロシア（BSEMIA）

エッセンシャルワーカーを支えるサービスの提供

BSEMIAでは、国ごとにエッセンシャルワーカー（医療関係をはじめとする、社会を支える仕事に従事する人たち）に向けたさまざまなサービスを展開しました。スペインやフランスでは、医療関係者に無料のパンク修理サービスを提供しています。また、アイルランドでは、パンク修理に加え、エッセンシャルワーカーに向けた無料の車両消毒を行い、安心して通勤できる環境づくりのお手伝いをしています。



ブリヂストンアメリカス（BSAM） 中南米で食料や衛生用品を寄贈



ブリヂストンラテンアメリカノース（BSLAN）は、メキシコ、コスタリカ、エクアドルで地元団体と連携して食料品や衛生用品を寄贈しました。

また、ブリヂストンアルゼンチンは国内の企業やNGOなどが参加する#SeamosUno（「一つになろう」という意味のスペイン語）プロジェクトに賛同し、工場のコンベヤベルトの一部を使って、キャンペーンで集まった食料や衛生用品を梱包する作業をサポート。プロジェクト全体を通じて、アルゼンチン国内で支援を必要とする世帯に100万箱の物資を届けることを目指しています。

ブリヂストンチャイナアンドアジアパシフィック（BSCAP）

ロックダウン中の子どもに向けた「塗り絵」の提供

アジア地域では、一時的な都市封鎖や学校の休校などにより、自宅待機を余儀なくされた国が少なくありません。ブリヂストンタイランドやブリヂストンベトナムでは、そうした自宅待機中の子どもやその保護者に向けて、ブリヂストンにちなんで「塗り絵」を作成して配布しました。交通ルールにちなんでいたり、タイヤに関係したりするイラストで構成されており、親子で自宅待機時間を楽しみながら、交通安全について学べる内容になっています。



3 これからを支えるために。

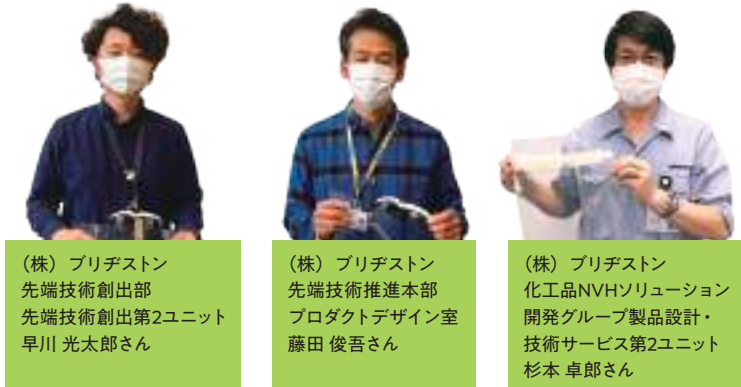
With コロナの
グループ内で

世界を見据えて、
進められた新しい取り組みを紹介します。



設備とノウハウを活用して フェイスシールドを製造

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、先端技術創出部、プロダクトデザイン室、タイヤ試作部、化工品技術センター（KTC）が中心となって、フェイスシールドの製造という挑戦が進められました。取り組みに関わった3名にお話を伺います。



（株）ブリヂストン
先端技術創出部
先端技術創出第2ユニット
早川 光太郎さん

（株）ブリヂストン
先端技術推進本部
プロダクトデザイン室
藤田 俊吾さん

（株）ブリヂストン
化工品NVHソリューション
開発グループ製品設計・
技術サービス第2ユニット
杉本 卓郎さん

Q. フェイスシールド製造のきっかけを教えてください。

早川さん コロナ禍において自分たちにできることを模索し、自部署の3Dプリンタによるマスクカバーの制作を検討していたところ、経済産業省（以下、経産省）から企業に対して、マスク、フェイスシールド、手袋などの保護具を提供してほしいという協力要請がありました。これらのうち、既存設備ですぐ試作対応可能なものについて社内でも議論し、フェイスシールドを試作することになりました。

杉本さん 結果的に、必要数が満たされたため行政への寄付は行いませんでした。地域社会で今後必要とされる可能性も見据えて、検討を継続しました。

Q. 製造で苦労したこと、工夫したことは何ですか？

早川さん 最終的に4種類のフェイスシールドを制作しました。3Dプリンタメーカーが無償公開しているフェイスシールド用ブラケット（頭部に固定する部分）を3Dプリンタでそのまま形にしたタイプ1と、タイプ1をもとに、より製造効率を高めた簡易式フェイスシールドのタイプ2、またウレタンフォームを使ってシールドを頭にしっかりと固定できるタイプ3、そして誰でも自宅で気軽に再現できるクリアファイルタイプです。KTCの杉本さんは、タイプ3の開発に向け、産業医の仲村先生を通じて近隣の病院の医療現場から貴重なフィードバックを集める、重要な役割を果たしてくれました。

杉本さん 特に意識したのは、「スピード重視で地域社会に貢献すること」。自分たちが感染する恐怖と戦いながらウイルス

感染防止に努める現場の生の声と、看護師が自作したフェイスシールドなどの防護具を使用するほどの深刻な状況を聞き取り、改良を進めま



医療スタッフとの検討

した。その結果、防御範囲・防曇性・再利用性のバランスが取れたタイプ3が完成しました。

藤田さん 製造体制も急ピッチで整備する必要がありました。とある医療施設からは数百枚のシールドの要請をいただいたので、レーザーカッターによるシールド加工作業スピードを上げるため、東京・小平の技術センターにあるタイヤの開発工場の技能員の方にもご協力いただきました。

Q. 活動の成果と今後の展望を教えてください。

早川さん フェイスシールドの一部を小平地区およびKTCのある横浜市戸塚区を中心とした医療機関、小・中学校、役所に寄贈しました。また、クリアファイルタイプの型紙を社外向けにブリヂストンブログで公開し、大変大きな反響がありました。私自身、今回の活動を経て、専門知識を持った技術者が集まって、さまざまな設備を活用しながら、使う人のことを考えて使い勝手をとことん追求するという、ブリヂストンならではの強みを体感できたことは大きかったです。

藤田さん 今回のように切迫した状況で素早い判断を下し、早期に実現まで漕ぎ着けたのは貴重な経験だったと思います。グループの一員として、必要な時のチャレンジ精神と判断系統のスピード化は今後さらに高めていきたいです。

杉本さん 関係部署による協力体制が即時構築され、予想以上に多かった医療現場からのご要望にも対応できたことは、ブリヂストングループの強みの表れだと感じました。今回のような行動が制限される緊急事態宣言下でも、知恵と工夫で社会貢献活動ができたことをうれしく思うとともに、今後も自分のできる範囲で社会貢献活動に参加してみたいと思います。



フェイスシールド（左よりタイプ2、タイプ3、クリアファイルタイプ）

60部署が協力し、 衛生用手袋の製造を検討

フェイスシールドの改良・製造プロジェクトと同時期に、別の分野でも新たなチャレンジが行われていました。（株）ブリヂストンの約60部署がアイデアを出し合って検討した「衛生用手袋の製造」という試みです。取り組みに関わったお2人にお話を伺いました。



（株）ブリヂストン 技術戦略部 技術企画ユニット
志村 知美さん 玉木 悟さん

Q. 取り組みのきっかけを教えてください。

志村さん ニュース等で医療物資や医療用機器の不足について耳にするなか、左側で紹介されている通り、フェイスシールドを医療従事者に提供し喜ばれていることを知り、他にも何か力になれないかと感じていました。ちょうどその矢先、経産省、経団連より医療物資・機器の生産協力の依頼があったことから、ブリヂストンで衛生用手袋の製造ができないかと検討を開始しました。

Q. 取り組みの進め方を教えてください。

志村さん 今回の取り組みでは、まず初めに（株）ブリヂストン技術センター内で手袋製造についてのアイデア募集のアンケートを実施しました。約60の部署・100名以上のエンジニアの方から、手袋製造に向けた179件ものアイデアをご提案いただきました。

玉木さん ある程度回答が集まったところで、手袋製造において達成したい性能、そのために必要なリソース、実行に移した場合の製造スケジュールなど、アイデアの実現可能性に関する調査を進めました。また、従業員から挙げられた「ブリヂストンの在庫を寄付する」というアイデアに基づいて、在庫拋出が可能な使い捨て手袋の調査も並行して行いました。こうして集まった案から、経産省のニーズと私たちが想定したニーズを鑑みて、「社外リソースが必要だが、具体的ですぐに手袋を製造できる案」と「投資が必要だが、ブリヂストングループ内で製造工程（材料から押出、切断、圧着、品質検査まで）を完結できる案」の2種類に絞り込んでいきました。同時に違う角度の案として、即時に貢献が可能な「技術センターの使い捨て手袋在庫提供案」も他部署から提示いただきました。社会の役に立つために何ができるか、型にはまらずに皆さんが真剣に考えてくださって非常にありがたく感じました。

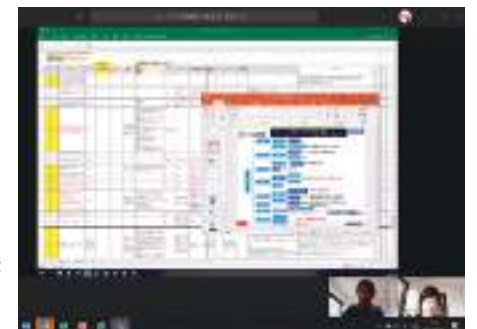
Q. 苦労したこと、工夫したことは何ですか？

志村さん 慣れないテレワーク下に加えて、短納期かつ初めて経験する業務でしたが、やり取りが無駄に増えないように、アンケートの質問項目を依頼先が必要以上の手間をかけずに回答できる内容にするとともに、いただいた多くのアイデアからニーズに沿った案を効率よく判断できるように工夫しました。

玉木さん 挙がってくるアイデアの種類や件数が見えないなかで、ニーズに沿った提案を短時間でまとめるために、アイデアの中身を見ながら、整理方法、次の手、提案内容などを精査していった点が大変でした。

Q. 活動の成果と、取り組みを経ての学びを教えてください。

志村さん 結果的にスケジュールなどの兼ね合いで手袋製造の実現には至りませんでした。短納期にもかかわらず、メールの依頼だけで数多くのアイデアが集まったことで、世界的な危機に対するグループの皆さんの献身的な姿勢と、経験豊富な人材を有するブリヂストングループの可能性を実感しました。**玉木さん** アイデアの中で「手袋製造をやることになったら作る。難しくない。完成度&納期感はリソース次第」という頼もしいコメントを頂き、材料研究や生産エンジニアリング等の各スペシャリストのすごみを感じました。リモートでの仕事が増えていく等、生産性向上が追求される流れの中においても、「貢献したい」という思いの共有や、相手を尊重する姿勢など、今まで以上にコミュニケーションを丁寧に行いたいと強く感じました。



Web会議で集まったアイデアの精査をする志村さん・玉木さん

Let's Try!

やってみよう! 私たちにできること

私たち一人ひとりに、今できることは何でしょうか？ Web版Arrowで集まった皆さんの意見を紹介します。
※お名前は、Arrow投稿時のハンドルネームで表示しています。

皆さんのリフレッシュ方法を教えて！



Nintendo Switchの「リングフィットアドベンチャー」と「脳トレ」で、日々、筋肉と脳のトレーニングに励んでいます！
(xyzさん)



これを機に、ガッツリと大掃除！年末に比べ気候も良いし、運動不足解消にも役立つし、気分もスッキリ！…のはず。
(今こそ大掃除！さん)



自宅のコーヒーマルで豆をひいてコーヒを淹れています。いろいろな産地の豆を取り寄せて風味の違いを楽しむ、自分で淹れると値段も手頃なのでおすすめです。
(mzさん)



昔ブームになった「コアリズム」というエクササイズのDVDが出てきて、息子と二人で毎夕やっています。いつの日か、これも昔ブームになった「ビリーズブートキャンプ」(注：軍隊風ハードコアエクササイズ)のDVDが出てきやしないかと恐れています。
(まろ先輩さん)



「手作りマスク」作りにハマっています。上手にできるとうれし、周りの方々にプレゼントしても大変喜ばれます。そして、洗えば何回も使える点が素晴らしい！これを機に、ミシンまで買ってしまいました。当分、この趣味で楽しめそうです。
(天ゾンプライムさん)



幼稚園が休みとなり、ほぼ一日家族で過ごしています。外食にも行きにくいので、少し奮発してホットプレートを買いました。最近のものはたこ焼き、パンケーキなどいろいろ作れるみたいで、子どもと一緒に作って楽しんでいます。
(おしえもんさん)

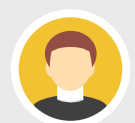
今自分たちにできることのアイデアや、実際に取り組んでいることを教えて！



コロナの影響で外食をする機会がなくなりましたが、UberEatsでお気に入りの店の料理を注文するようになりました。アプリで注文をするときにお店へプラスαで寄付金を送れるシステムで、お気に入りの料理を食べながらお店を応援できるので、皆さんもぜひやってみてください☆
(ウナギさん)



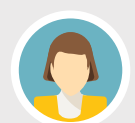
ハンカチを使ってマスクを手作りし、洗い替えしながらちょっとした外出などに使っています。その分、自宅にあった使い捨てマスクの一部は、入院中のお父さんがいらっしゃる方に差し上げ、有効活用してもらいました。
(トラッキーさん)



元々予定していたGWのお出掛けをキャンセルし、家の中の大掃除に費やしました。懐かしい写真などが出てきてつい手が止まりがちでしたが、整理した結果、押し入れの中が空っぽになりました。ミシンを買って空いたスペースに設置し、マスクの自作に励んでいます。
(匿名さん)



オンライン懇親会、オンライン飲み会をされる方も多いかと思いますが、その際に参加者の皆さんが寄付をする「オンラインドネーション懇親会・飲み会」をやってみました。
(ますさん)

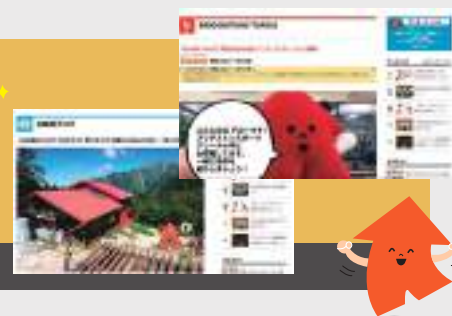


サステナブル関連の部署に異動したこともあり、「ゴミの減量につながればいいな」と思って、自分が暮らす街の資源ごみ分別方法を再確認。勘違いして分別していたものや、洗えばリサイクルできるもの等がありました。また、近所の農場では、給食用に栽培していた小松菜を3・4月で500kg廃棄したと聞き、廃棄量の削減に少しでも貢献したくて、その農場直営売場に積極的に買い物に行くようになりました。
(stellamarisさん)

Web版Arrowは動画コンテンツを強化してほぼ毎日更新中！

- ・【Health Seed】ブリヂストンスポーツアリーナのインストラクターによるストレッチ動画
 - ・ブリヂストンスポーツ所属のアスリートによるおうちトレーニング動画
 - ・ブリヂストン吹奏楽団久留米のコンサート動画 などなど
- Stay homeが叫ばれる今だからこそ、ぜひご自宅から見てみてくださいね！

<https://arrow.bridgestone.co.jp/> (ID: bridgestone パスワード: arrow)



★★ 教えて！先生！ ★★

今まで世界が経験したことのないコロナ禍を乗り越えて前に進むブリヂストングループの皆さんへ、
カウンセラーの先生からアドバイスをいただきました。

前向きに歩みを進めるために

(株) キャリアバランス スーパーバイザー兼代表講師 弓 ちひろ先生

※弓先生は(株)ブリヂストン 本社カウンセリング室のスーパーバイザーでもあります。



ニュースで耳にする 「自粛疲れ」「コロナ疲れ」って何？

普段はそれほど世の中のことを意識していない方でも、先が見えない不安や大きな変化に飲み込まれてしまうような気持ちになったり、疲れているのに眠れないことがあるようです。いつもなら、あまり意識しなくても自然にできる仕事の段取りが決められなかったり、大幅に時間がかかることもあるようです。

気分の切り替え、メリハリを

在宅勤務を例に取ってみると、会社と自宅では照明のルクス(明るさ)が違うこともあり、長時間パソコンに向かうと眼精疲労が起こります。照明によっては体内時計も狂いがちです。また、仕事気分が抜けずリラックスできない方もいらっしゃるようです。テレワークで疲れた際には、電話を利用して家族や親しい友人と言葉を交わすことも大切です。ツールや気分の切り替えを意識してみてください。アナログですが、好きな絵柄の便せんを用意して手紙を書くなども気分が変わっていいでしょう。

環境によってはパーソナルな空間を保つことが難しいかもしれません。ご夫婦であれば、午前と午後で場所を替えてどちらかが自宅仕事をしたり、幼いお子さんが自宅にいる場合は、30分に一度関わる時間を作るなど、メリハリをつけると良さそうです。一方、お子さんご自身で“自分は仕事、お子さんにはその間に何かに取り組ませる”といった同時並行の取り組みなどは、うまくいかなかったという声が上がっています。

「新しい生活」に慣れるまで、 焦らなくても大丈夫

5月末に全国で緊急事態宣言が解除されました。「スタートダッシュ！」と気負う前に、これまでとはリズム

が違っていったことを少し思い出してください。今の状況は例えるならば、長年、短距離ランナーとして走っていた人が、突然、長距離ランナーとしてペースを変えて走ることを余儀なくされ、それにも慣れてきた頃に、また短距離ランナーに戻そうとしているような形です。本人は「すぐに元に戻るはず」と考えても実際は難しい場合が多く、気分が滅入ることも出てきてしまいます。ペースやリズムが違うことに慣らしていくことを意識して、とにかく徐々に戻していく必要があります。

自分自身と向き合うきっかけに

同僚とのコミュニケーションの取り方もこれまでと異なり、今後の働き方等について、一人で考えてしまうことも増えたのではないのでしょうか。会社の場所や利便性、職場の雰囲気など外的なものも大切にしてきた方は、どこかで「望んでいるものではない」と感じたり、外的なものが曖昧になり、「何のために働いているのか」と根本的なキャリア観が揺らぐことも出てくるかもしれません。揺らぎを減らしていくには、今一度何のために働いているのか、キャリア観を明確にしていけることも必要になってくるでしょう。新しい働き方として、テレワークがこれまで以上に増えるなか、通勤時間に費やしていた時間をうまく利用して、ご自身を見つめる時間に充てるなど、ぜひご自身のために、振り返る時間を作ることも新しい習慣にしてみてくださいね。



東京2020オリンピック 自転車競技 日本代表内定選手に選出

6月4日、ブリヂストンサイクル（株）の自転車競技チームTEAM BRIDGESTONE Cyclingに所属する橋本英也選手、脇本雄太選手、およびブリヂストンサイクルが機材サポートを行っている小林優香選手、梶原悠未選手が東京2020オリンピック日本代表内定選手に選出されたことが発表されました！各選手の出場種目は下記の通りです。



はしもと えいや
橋本 英也選手
TEAM BRIDGESTONE Cycling
自転車競技 / トラック
(男子オムニウム)



わきもと ゆうた
脇本 雄太選手
TEAM BRIDGESTONE Cycling
自転車競技 / トラック
(男子ケイリン・男子スプリント)



かじはら ゆうみ
梶原 悠未選手
ブリヂストン機材サポート選手
自転車競技 / トラック
(女子オムニウム・女子マディソン)



こばやし ゆうか
小林 優香選手
ブリヂストン機材サポート選手
自転車競技 / トラック
(女子ケイリン・女子スプリント)

また、TEAM BRIDGESTONE Cyclingの窪木一茂選手と太田りゆ選手（ともにトラック）、平野星矢選手（マウンテンバイク）が補欠として選出されています。選手たちのこれからの活躍をブリヂストングループ全体で応援していきましょう！



ブリヂストングループ地区別/個社別対抗戦 「オリパラクイズ王 ～オンラインで参加しよう～」スタート！

7月1日からブリヂストングループ内オリンピック・パラリンピック新企画、「オリパラクイズ王」が始まりました！

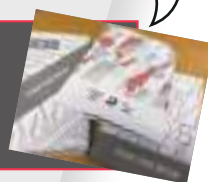
この企画では、各回ブリヂストンのパートナー協賛にまつわるテーマをもとにしたクイズに回答し、地区別/個社別の「平均得点」に「参加率」による加点要素も含めて順位を競います。もちろん個人での参加也大歓迎！

記念すべき第1回はチームブリヂストンの看板的存在、萩野公介選手（水泳/競泳）特集！実際に従業員の皆さんから寄せられた質問と萩野選手の回答を元にクイズを作成しています。ぜひ気軽に参加ください。

※社内オリンピック・パラリンピックイントラサイト「Chase Your Dream Navi」では、週次で地区別/個社別中間ランキングを発表しています。
※本企画は来年の東京2020大会まで定期的に開催予定です。



第1回目は（株）ブリヂストンコーポレートデザイン室が制作したブリヂストンの『東京2020ルック&フィール柄』と『POTENZA 71Rのタイヤパターン柄』！ルック&フィール柄は、東京2020大会のために作られた当社オリジナル柄、そしてPOTENZA 71Rは特に人気の高いパターンです。



開催期間	参加方法
第1回 7/1 (水) ▶ 8/17 (月)	QRコードを読み取っていただくか、Web版Arrow、One-B、Chase Your Dream Naviの告知ページよりご参加ください



参加特典
もれなくもらえる！限定デザインブリヂストン×オリンピック・パラリンピックブックカバー（PDFデータでの提供となります。ご自宅でご印刷ください）

特集2

地球環境とブリヂストン

ーマイルストン2030とその先の未来ー

7月に、2030年に向けた環境中期目標「マイルストン2030」が発表されました。持続可能な社会の実現のために、企業として、また個人として私たちができる地球環境への貢献とはどのようなものなのでしょうか？

地球環境、この先どうなる？

Q. 今、地球環境をめぐりどのような危機があるのでしょうか？

A. 気候変動や環境汚染などがより深刻に

世界の人口や自動車台数の増加に伴い、環境の課題は増えていくと予想されています。例えば地球温暖化。世界の平均気温は産業革命以降、すでに1℃上昇しており、今後は少なくとも2℃未満、できれば1.5℃以内に抑えることが国際的な目標になっています。仮に2℃上昇した場合、国内の猛暑日は現在の1.8倍にもなると推定されています。また、日本の年間平均気温は今世紀末に今より5.4℃上昇するとも言われています。台風や洪水、また渇水や干ばつも世界中で深刻な影響をもたらしています。



Q. 地球環境を守るため、企業が果たすべき役割とはどのようなものなのでしょうか？

A. お客様やビジネスパートナー、そして社会と一緒にって社会課題に取り組んでいかなければなりません。

2015年に国連で採択された「SDGs（持続可能な開発目標）」では、気候変動や水不足といった環境問題への対応を含む、国際社会が2030年までに達成に向けて取り組むべき17のゴールと169のターゲットを設定しています。企業も社会の一員として、その達成に向けて積極的に貢献していくことが重要です。ブリヂストンでは、中長期事業戦略構想において「2050年にサステナブルなソリューションカンパニーとして社会価値・顧客価値を持続的に提供している会社へ」というVisionを掲げています。事業を通じて、お客様や社会と一緒にって環境課題を解決し、持続可能な社会の実現に取り組んでいく必要があります。

サステナビリティ推進部
環境戦略企画ユニット
森脇 久美子さん
本橋 淳さん

地球環境と
ブリヂストンの未来について、
一緒に考えていきましょう！

ブリヂストングループ 環境への取り組み

ブリヂストングループは、2002年に環境理念を制定し、一貫した考え方のもとで、環境に貢献するさまざまな取り組みを推進してきました。私たちは「2050年にサステナブルなソリューションカンパニーとして社会価値・顧客価値を持続的に提供している会社へ」というVisionを掲げています。事業を通じてESG（環境・社会・ガバナンス）と言われる課題への取り組みを進めていくことが重要です。

2012「環境長期目標」を設定

「環境宣言」を私たちの基本方針として、2050年の世界を見据え、持続可能な社会の実現に貢献するために、「自然と共生する」「資源を大切に使う」「CO₂を減らす」という3つの活動において長期目標を掲げました。同時に中期目標として「マイルストーン2020」を示しました。

環境に関する法律や規則の遵守など、**企業活動の基盤となる環境基本方針**を定めました。翌年から、工場の環境負荷削減だけでなく、商品による環境貢献や環境コミュニケーション活動を推進。**ブリヂストンの環境への姿勢を示す環境活動マークも設定**しました。



2002 環境理念を制定

2003 「環境経営元年」として、環境経営活動をスタート

2009 環境宣言を制定

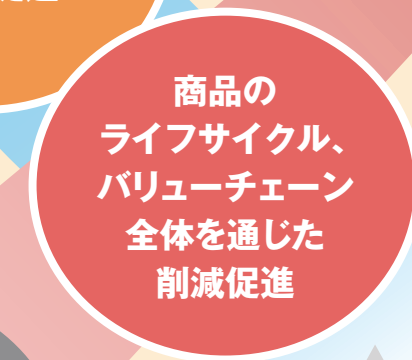
2011 環境宣言をリファイン、現在の形に



マイルストーン2020

マイルストーン 2030

長期目標
2050年以降



外部環境の変化

- 環境問題の深刻化・多様化
- 国際社会からの要請
- 生活者の環境意識の高まり・行動変化

環境問題はグローバルリスクとして最も注視される領域に。企業経営にとってもその重要性が増しています。

マイルストーン2020を1年前倒しで達成！

事業活動に伴う環境への影響を見える化し、効率のよい事業活動に取り組んできました。その結果、2005年対比で、取水量を35%削減、CO₂はモノづくりにおけるCO₂排出量に対し、タイヤ使用時のCO₂排出量への削減貢献量が上回るという中期目標を2019年に達成しました。生産拠点の皆さんをはじめ、グループ従業員の皆さんの取り組みの成果です！

持続可能な社会の実現

ブリヂストングループ環境宣言
未来のすべての子どもたちが「安心」して暮らしていくために…

活動の方向性を示した**環境宣言は、従業員一人ひとりの環境活動の精神的な支柱**です。(実は私、この宣言に共感してブリヂストンに入社しました)

「2050年にサステナブルなソリューションカンパニーとして社会価値・顧客価値を持続的に提供している会社へ」というVisionの実現に向けて、**お客様や社会と一緒に環境課題を解決し**持続可能な社会の実現に取り組んでいきます。

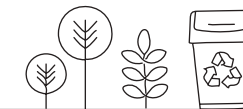
マイルストーン2030では、事業の成長と環境の両立を目指す「デカップリング」への挑戦を加速させていきます。環境への影響や資源の消費拡大を抑えつつ、事業を成長させていきます。**Bridgestone T&DPaaSのプラットフォームを通じてソリューションビジネスを加速させ、お客様やパートナーと共に商品のライフサイクルやバリューチェーン全体でのCO₂排出量の削減や使用する資源の削減に貢献**していきます。

環境問題はグローバルリスクとして最も注視される領域に。企業経営にとってもその重要性が増しています。



マイルストーン2030の3つの活動

2030年までに実現を目指す3つの活動を見ていきましょう。



深刻化が見込まれる社会・環境課題や、事業の成長に伴い環境への影響が増加する可能性をふまえ、従来の活動に留まらないさまざまなアクションに取り組めます。

私たちの日々の事業活動は、取水・排水に、廃棄物の発生や大気汚染物質の排出、騒音、振動などさまざまな環境負荷につながる可能性があります。しかし、逆に言えばそこに改善のチャンスがあります。

取り組み事例1

水を地域で共有して再利用

日常生活において、水の利用に不便を感じる人が多い地域にあるブエノスアイレス工場（アルゼンチン）では、水利用の効率化に継続的に取り組んできました。2019年4月より、新たな取り組みとして工場で排出する処理水を近隣の大手セメント会社の工程用水として提供し、限りある資源を地域で再利用しています。

1 環境インパクトの改善推進

自然と共生する



取り組み事例2

「生物多様性貢献活動推進プログラム」スタート

世界の生産拠点における生物多様性貢献活動を評価するプログラムを2019年から実施しており、グループ全体の97%にあたる126拠点が参加しています。貢献レベルを3段階で社内認証し、優れた活動事例をグループ内で共有することで、地球上の生物の多様性を守る取り組みを強化しています。



社内認証を称える盾

リサイクルされた原材料および天然ゴムなどの再生可能な原材料の割合を増やし、また使用済みのタイヤを有効活用するなど、資源を大切に使う取り組みを加速させていきます。石油などの化石資源をはじめ、多くの資源には限りがあります。また、製品は寿命を終えても消えてしまうわけではなく、海洋プラスチックのように、地球上に存在し続けます。どのように資源を使っていくかをきちんと考え、行動していくことが大切です。

取り組み事例1

資源循環の仕組みを作る

「サーキュラーエコノミー」とは、循環経済のこと。省資源で持続可能な商品の設計・生産、持続可能な消費活動、使用後の商品や資源の適切な回収、再生・再利用を通じ、資源のムダを省き、環境破壊のリスクを低減させる経済システムです。

例えば、トラック・バス用タイヤや航空機用タイヤは使用済みタイヤのトレッド部分を取り除き、新たなゴムを貼り付けてリトレッドタイヤとして再利用されるものもあります。これは新品タイヤに比べて、使用する原材料を減らすことができるだけでなく、廃タイヤの削減にも貢献しています。

リトレッドタイヤは、サーキュラーエコノミーの先進事例



2 サーキュラーエコノミーへの貢献促進

資源を大切に使う



取り組み事例2

再生カーボンブラックを原材料に用いたタイヤを商用化

ブリヂストンアメリカス（BSAM）は、廃タイヤを熱分解して原材料の一つであるカーボンブラックを回収し、この再生カーボンブラックを使用したタイヤを販売しています。このタイヤは、新品のカーボンブラックを使用したタイヤと同等の性能を維持しながら、カーボンブラック製造時におけるCO₂排出量を約81%削減することができます。BSAMでは、2020年中に廃タイヤ200万本から再生カーボンブラックを回収する予定で、資源の有効活用、CO₂の削減に取り組んでいます。



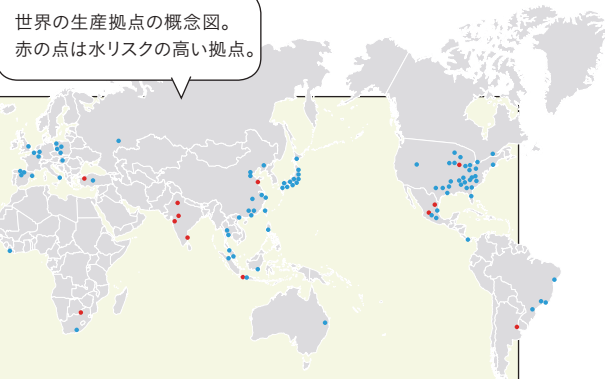
マイルストーン2030 目標のPOINT

水ストレス地域で、水資源の保護の施策を展開

ブリヂストンでは、公平かつ持続可能な水の利用に向けて、**水ストレスの高い地域の生産拠点において重点的に、水リスク低減に向けたウォーターシュワードシッププランを推進**します。具体的には、水の循環利用や雨水・再生水の利用、水道管の漏水対策などに取り組んでいきます。

日本では、いつでも水が使える状態にありますが、そうでない地域もあります。水を大切に使うということは、単に環境に良いということだけでなく、コスト削減にもつながります。そういった幅広い視点で見ることも大切です。

世界の生産拠点の概念図。赤の点は水リスクの高い拠点。



「使い捨て」ではなく資源の循環を

ブリヂストングループでは再生資源、再生可能資源由来の原材料の使用を拡充していきます。**2030年までに使用する原材料全体に占める比率を40%まで向上**させることを目指して研究開発を進めています。例えば、再生資源では、使用済みのタイヤから作られる再生ゴムや再生カーボンブラック、再生可能資源では天然ゴムやグアールなど天然由来の原材料などがあります。限りある天然資源を有効に活用し、また資源価格の高騰に対応していくためにも、資源をより賢く、持続的に利用することは、環境問題の解決に貢献するだけでなく、社会、そして私たちの事業にとっても重要です。

マイルストーン2030 目標のPOINT



マイルストーン2030の3^つの活動

事業の成長と環境負荷低減の両立を目指す「デカップリング」を念頭に、私たちの事業活動により排出するCO₂を最低でも30%、できる限り50%まで削減する目標を設定しました。ソリューションビジネスを加速させることで、お客様やパートナーとともに、商品のライフサイクルやバリューチェーン全体を通じて、社会全体のCO₂の削減に貢献していきます。

取り組み事例1

再生可能エネルギーの利用拡大

生産活動におけるCO₂削減の取り組みの一例として、再生可能エネルギーの利用拡大を各生産拠点で展開しています。スペインのタイヤ工場では既に100%再生可能エネルギーで発電した電力を使用しており、今後、ハンガリー、ポーランドでもそうした電力へ切り替える予定です。また、一部の中国やインドのタイヤ工場では、電力会社と共同で屋根に設置した大規模な太陽光パネルで発電した電力の利用を2019年から始めています。

無錫工場(中国)の太陽光発電



マイルストーン2030 目標のPOINT

社会全体でCO₂削減の取り組みを加速

2030年までにブリヂストングループが生産段階で排出するCO₂をまずは30%、できる限り50%削減する目標に取り組んでいきます。エネルギー効率の最大化、再生可能エネルギーの使用拡大、モノづくりイノベーションなどを通じて、実現を目指します。

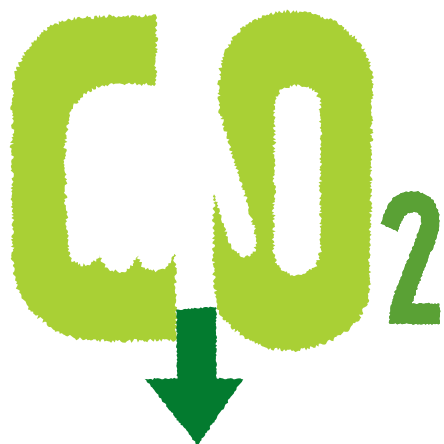
また、製品の生産段階の取り組みだけでなく、社会やお客様、パートナーと新しい価値を共創するソリューションビジネスを強化することで、2030年までにグローバルでより多くのCO₂削減に貢献し、生産活動で排出する5倍以上のCO₂削減を目指します。

2030年、そしてその先の未来に向けて、ブリヂストンだけではなく、社会全体で取り組みを加速させていきます。

3

商品のライフサイクル、バリューチェーン全体を通じた削減促進

CO₂を減らす



取り組み事例2

ソリューションビジネスを加速させ、社会全体のCO₂削減に貢献していく

従来注力してきたタイヤの転がり抵抗の低減によるタイヤ使用時のCO₂削減を一層推進していくことはもちろん、これからはBridgestone T&DPaaSのプラットフォームを通じてソリューションビジネスを加速させ、お客様やパートナーとともに商品のライフサイクルやバリューチェーン全体でのCO₂削減にも取り組んでいきます。例えば、ウェブフリートソリューションズでは、ドライバーや運送事業者様に最適な走行ルートを表示し、燃費やCO₂排出量の削減に貢献しています。



お客様が自動車を運転する際の燃費向上やCO₂削減に貢献するウェブフリートソリューションズ

最後に

「全員がサーキュラーエコノミーの一員です」

ブリヂストンの各生産拠点において、長年にわたり環境負荷の低減に徹底的に取り組んできた結果、マイルストーン2020を1年前倒しで達成するなど目覚ましい成果が上がっています。皆さんの努力に心からお礼を申し上げます。

ただ、今後、私たちが目指す新しい目標を達成するためには、より多くのステークホルダーの皆さんとともに取り組んでいく必要があります。そして私たち一人ひとりは、社会全体で成り立っているサーキュラーエコノミーの一員です。視野を広げ、自分たちに何ができるかを考え、気づきや事例を共有し、未来の子どもたちのために仲間やお客様と一緒に取り組んでいきましょう。



今回紹介した環境中期目標については、詳しくはサステナビリティレポートに掲載されています。また、サステナビリティレポートでは、Global CEOの石橋さんのサステナビリティへの思いや、中長期事業戦略構想についても詳しく掲載されています。ぜひご覧ください。



Voices お客さまの声

グループ各社に寄せられたお客様の声を紹介します。
さらにお客様のご期待に応えられるよう、貴重な情報源として役立てていただければ幸いです。



お客さまの声の全文はWeb版Arrowでご覧ください！
(ユーザー名：bridgestone パスワード：arrow)

♥ お礼・お褒めの言葉
? お問い合わせ
★ ご指摘・ご要望

? お問い合わせ

タイヤのバーコードははがさない方が良い?

タイヤに貼ってあるバーコードは、リム組み時にはがさない方が良いでしょう? ホイールフランジに接する部分にあるものです。(大阪府・男性)

ブリヂストンの対応

From (株)ブリヂストン お客様相談室

無理にはがそうするとビード部が傷ついたりして、エア漏れにつながる場合もあるため、はがすことはお勧めしないことをお伝えしました。



バーコードの一例

♥ お礼・お褒めの言葉

つくり手の志が感じられるタイヤに感動

マツダのベルソナという30年ほど前のクルマに乗っています。3年前にREGNO GR-XIを装着し、3万kmほど走行。それなりに摩耗している状態ですが、先日他社のスタッドレスから交換して、直前まで感じていたネガな部分が即座に一掃されました。

気持ちよく軽やかな加速と、ショックが少なくスムーズな変速に加え、操舵に対して遅れなく車両の向きが変わり、ブレーキの踏力コントロールも抜群です。土砂降りでも接地感が変わらず、不安感なく走行できました。REGNOは人間の“心地よい”という感覚にピタリと合うようにチューニングされていると、素人ながらに感じます。その点が、ベルソナの持っている特性とマッチングしているのだと思います。

装着3年目に再び感動したタイヤは初めてです。このような素晴らしいタイヤをつくっていただき、ありがとうございます。(広島県・男性)

♥ お礼・お褒めの言葉

AHLアリーナの取り組みを誇らしく思います

ブリヂストンAHLアリーナのオンラインワークショップに参加させていただきました。改めて、他に例を見ない御社の取り組みを、近隣住民として、また障がいのある娘を持つ母親としてとても誇らしく、心より応援させていただき思っています。スポーツ施設でありながら、集われるさまざまな方々が共に、誰一人として疎外感なく気持ちよく楽しめる場所ができることを、強く心より願わずにはいられません。そして、これからブリヂストンAHLアリーナに集われた皆様が、共に経験を共有することで、お互いの違いを認め合い、他者を思いやる気持ちが芽生える素敵な場所になるのではないかと考えております。(東京都・女性)

ブリヂストンAHLアリーナ ワークショップについて

「ブリヂストンAHLアリーナ」は、どなたでも参加・利用いただける共生型のスポーツ施設を目指し、2023年に小平で竣工予定です。そのなかにある広場や遊具をより良いものにするため、障害のある方とご家族、NPO職員の方などから意見を募るワークショップを開催しています。4月にはオンラインで開催しました。

♥ お礼・お褒めの言葉

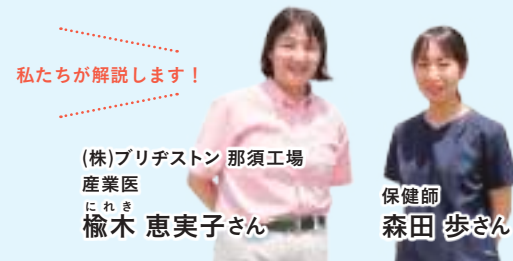
TO：タイヤ館盛岡北

気遣いに感謝しています

本日、母がタイヤ交換でお世話になった者です。こちらの都合にも関わらず親切に対応いただきありがとうございます。車を引き取りに来てくれたこと、ワイパーの購入しかしていないのに覚えていてくれたこと、腰の調子を気遣ってもらったことがとてもうれしかったと母が話しておりました。また利用させていただきますので、これからもよろしくお願いいたします。本当にありがとうございました。(岩手県・男性)

熱中症対策と新しい生活様式

例年のような猛暑が予想されているこの夏。プリチストングループの各事業所では毎年熱中症対策に取り組んでいますが、今年は新型コロナウイルス感染症対策のため、「新しい生活様式」も考慮しなければなりません。両立のためにはどのようなことに気を付けるべきか、チェックしていきましょう。



おさらいしよう！ どうして熱中症になるの？

熱中症は、大量に汗をかくことで体の水分やナトリウムのバランスが崩れたり、体温の調節ができなくなったりすることで起こります。その要因は「環境」、「からだ」、「行動」の大きく3つに分けられます。

環境	気温が高い、湿度が高い、風が弱い、など
からだ	高血圧や糖尿病などの持病、二日酔いや睡眠不足などの体調不良、暑さに慣れていない、など
行動	長時間の屋外作業、激しい運動や慣れない運動、水分補給できない状況、など



どんな症状が出るの？

軽症	めまい・失神（立ちくらみ）、筋肉痛・筋肉の硬直（こむら返り）、大量の発汗など
中等症	頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感、イライラする、など
重症	意識障害、けいれん、手足の運動障害、高体温など

予防をしよう！

✓ 水分・塩分を補給しよう

のどの渇きを感じる前から摂取しましょう。作業中や運動中は、15～20分ごとを目安に水分と塩分を補給しましょう。



✓ 規則正しい生活をしよう

睡眠時間の確保や、食事を3食取することを心がけましょう。

✓ 暑さ指数（WBGT）をチェックしよう

WBGTは、気温、湿度、輻射熱^{*}を基に、熱中症の危険度を判断する数値で、数値が大きいほど熱中症が発生しやすくなります。職場のWBGTを確認し、適度に休憩を取り、水分・塩分を摂取するよう心がけましょう。

^{*}地面や建物・体から出る熱で、温度が高い物から多く放出される。



WBGT測定器の一例

WBGTが28℃を超えると熱中症発生率が急増すると言われていよ！

国内各地点のWBGTは、環境省 熱中症予防情報サイトでも確認できます。



Q&Aで学ぶ withコロナの熱中症対策

「新しい生活様式」が取り入れられるこの夏。職場や自宅で起こりうる、気になる疑問に答えていただきました。

Q. マスク着用時と非着用時では、熱中症のなりやすさに違いはありますか？



森田さん

マスク着用時の方が熱中症になりやすいと言えます。マスク内で熱がこもりやすく発散しにくいこと、また、マスクによる加湿で口の渇きを感じにくくなるため、熱中症の症状に気づきづらく、マスク非着用時と比べ熱中症になるリスクが高まるといわれています。



Q. 暑い場所でも安全上の理由で長袖やマスクの着用が義務付けられている場合、どのようなことに気を付けられればよいでしょうか。



森田さん

のどが渇く前に水分補給をし、汗を多くかいた時は塩分も補給しましょう。WBGTの高い時間帯にあえて負荷の強い作業をすることは、できる限り避けてください。周囲の人から2m以上距離をとれるのであれば、適宜マスクを外して休憩するのもよいでしょう。服装は速乾性の高いものがお勧めです。休憩時には体を冷却し、体調が悪いときは絶対に無理をしないでください。

Q. 外出自粛や運動不足により熱中症になりやすくなることはありますか？



森田さん

体内の水分を貯蔵する役割の大部分を、筋肉が担っています。運動不足で筋肉が痩せてしまうと水分量が減り、熱中症になるリスクが高まります。Arrowでも紹介されているストレッチ動画などを見ながら、一緒に運動してみましょう。屋外でスポーツをする際は、人との間隔を2m以上空けてください。



榎木さん

今年の春は自宅で過ごすことが増え、「暑熱馴化（徐々に体を暑さに順応させること）」がしにくい状況にありました。スポーツジムやサウナなどが利用できず、汗をかく機会が減ってしまった方も多いでしょう。暑熱馴化には、無理のない範囲で「やや暑い環境で「ややきつい」と感じる強度の運動を毎日30分程度することが有効と



Q. 乾いたタオルよりも濡れたタオルで汗を拭いた方が良いというのは本当ですか？



森田さん

本当です。私たちの身体は、汗が蒸発するときの「気化熱」が体の熱を奪い、体温を下げています。濡れたタオルの場合、皮膚に水分が残り気化熱が発生し、体温が下がりやすくなります。反対に、乾いたタオルで汗を完全に拭ってしまうと気化熱が発生しにくく、体温が下がりにくいのです。



榎木さん

使い捨ての汗拭きシートには、メントール配合で爽快感を増す製品もあります。休憩時間に、上手に取り入れたいですね。

Q. その他に気を付けるべき点などがあれば教えてください。



森田さん

今年は従来の熱中症対策に加え、新型コロナウイルス感染症対策も必要になります。日頃の体温測定、体調チェックは新型コロナウイルス感染症だけでなく、熱中症予防でも大切です。また、高血圧や肥満などは熱中症のリスクを増加させてしまいます。普段から体調管理に気をつけて、しっかり食事を取り、体調が悪いときは無理せず休んでください。気象庁の高温注意報や、環境省のWBGTなどの情報も活用し、暑さから身を守りましょう。



榎木さん

真夏の天気予報では、日中のWBGTは常に「危険」域です。そうしたなかで仕事をする際は、作業の強度などを見直すことに加え、リスク管理として「水分摂取の頻度を上げる」ことも重要です。水分摂取を控えてしまう理由の一つに「トイレに行きにくい環境」が指摘されており、重要でありながら盲点となっています。休憩時間、着衣、トイレへの距離、トイレの清潔さなどは適切に保たれているでしょうか。「仕事の合間には必ず休憩を取り、トイレに行き、手を洗い、マスクを外して深呼吸、水分補給する。」この夏ぜひ取り入れてほしい、新しいスタンダードです。

ありがとうの気持ち vol. 57

ブリヂストングループの仲間への感謝の気持ちを、リレー形式で紹介します。

私 が営業所でセールスのチーフをしていた頃、同じくセールスの西口君は、頼りになる右腕として販売はもちろん、営業所内のまとめ役としても頑張ってくれました。

その後一旦部署は分かれたのですが、再度カンパニー本社の消費財統括部で上司と部下として一緒に仕事をすることに。私はずっと営業畑だったので、新しい仕事に少し戸惑いを感じていたところ、西口君は口には出していないものの、「みなまで言いな！どっしり構えていてくれたらいいんで、細かいことは任せてください！」そんなオーラを出して仕事をしてくれました。何を聞いても的確に答えてくれて、仕事がスムーズに進んでいたことを思い出します。

当時西口君が担当していた企画などを、今の部下に「こんな考えもあるのでは？」といったアドバイスに使わせてもらっています。今後ますますのご活躍を期待しています！また大阪に来た時には声を掛けてください。一杯行きましょう！

頼もしい右腕です



ブリヂストンタイヤジャパン（株）
大阪カンパニー 販売業務部長
草野 晃宏さんから

Thank
You!



ブリヂストンタイヤジャパン（株）
消費財マーケティング本部
消費財チャネル企画部 課長
西口 勝也さんへ

切っても切れないご縁です



（株）ブリヂストン 関工場長
原 秀一さんから

Thank
You!



（株）ブリヂストン
化工品基盤・先行技術開発本部
生産基盤技術開発部長
上野 哲一さんへ

上 野さんは、私が入社した時の指導社員でした。右も左も分からないなか、ブリヂストンでの仕事の進め方、考え方について大変厳しくご指導いただきました。その後、上野さんは他の事業部へ異動され、私も本社から工場勤務となり疎遠になったかと思いきや、上野さんの担当商品を私の所属部署で新たに生産することになったり、その後それぞれ新たな職場へ異動しても、そこでまた仕事のご縁。「ゴルフ行こうね」と誘ってはいいただけるものの一度も達成できていないのに、切れることのない仕事上での関係、運命としか言いようのないこのご縁を今後も大切にしたいと思っています。引き続き公私共々、ご指導よろしくお願いします。

ご意見紹介

特集「石橋 新グローバルCEOが語るチームメイトへの想いと将来に向けたブリヂストンのVision」について

- この先10年の変化は、これまで以上の変化の大きさ・違いになるだろうから、もっともっとみんなで変化に対応する、変化を先取る取り組みが必要。
（ペンネーム：3488さん）
- Visionは理解が深まりました。あとは具体的にどのように実現していくかというのがグループ全体の課題ですね。
（ペンネーム：2児パパ苦戦中さん）

特集「持続可能な社会を目指して」について

- サステナブル社会にあった製品設計が重要だと思いますので、設計のプロセスをもっと大胆にデジタルを使って、効率化して今よりもっと早いサイクルでサステナブル商品を世に出せるように貢献していきたいです。
（ペンネーム：Noriさん）
- 確かに、タイヤ摩耗粉じんは私も以前より気になっていました。1%以下であっても、そのタイヤくずは、どこに行ってしまうのだろう？我々の職場では、タイヤのモールドを廃棄する業務を行っています。工場の有価物として一般のリサイクルとなりますが、これをブリヂストン内でもう一度、タイヤモールドに生まれ変わらせることができないでしょうか？廃タイヤが生まれ変わるのなら、廃棄モールドもブリヂストン内で生まれ変わらせたい。
（ペンネーム：夜明けを待つおじさん）

Present!
読者プレゼント!

アローくん
オリジナルエコバッグ

200名様

デザインは鋭意作成中!
お楽しみに!



広報部からのお知らせ 新しい会社紹介動画を公開しました



ブリヂストングループの事業や商品を簡単にわかりやすく説明する、新しい会社紹介動画を公開しました。今回は、多くの方に親しみを感じていただけるよう、アニメーションで制作しています。動画は、Web版Arrow、ブリヂストンYouTube公式チャンネルでご覧いただけます。お客様へのプレゼンテーション、工場見学や採用活動のイベントなどで、ぜひご活用ください。



動画はこちら!

※ブリヂストン
YouTube公式
チャンネルへ
アクセスします。